

地方自治法第243条の3第1項の規定及び財政事情の作製及び公表に関する条例に基づき、令和2年度決算及び令和3年4月1日から令和3年9月30日までの期間における本市の財政事情についてのお知らせを公表します。

■問合せ 財政課財政係 TEL76-1191

# 枕崎市の

# 財政事情

この公表は毎年2回、市の財政状況についてお知らせするものです。財政は市の台所、皆さんの家計簿です。本市の台所がどのような状態にあり、これが従来とどう変わっているか、また市の仕事のために要する費用をどれだけ負担し、どのように使われているかを知っていただくものです。

## 令和2年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率

令和2年度決算に基づいて算出した4つの健全化判断比率のうち、実質赤字比率及び連結実質赤字比率については該当がなく、実質公債費比率及び将来負担比率については、いずれも前年度を下回り、また早期健全化基準を下回る比率となっています。これまで着実に改善してきていますが、県内団体の中でみると依然として高い水準にある状況が続いています。

財政計画を策定し、市債残高の縮減や基金の充実を図るなど改善に努めています。

### ●健全化判断比率 (単位：%)

項目	令和2年度比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	14.36	20.00
連結実質赤字比率	—	19.36	30.00
実質公債費比率	9.3	25.0	35.0
将来負担比率	27.7	350.0	—

※実質赤字額または連結実質赤字額がない場合は「—」を記載

### ●資金不足比率 (単位：%)

公営企業等の名称	令和2年度比率	経営健全化基準
枕崎市水道事業会計	—	20.0
枕崎市立病院事業会計	—	
枕崎市公共下水道事業会計	—	

※資金不足額がない場合は「—」を記載

### 【用語解説】

**実質赤字比率** 一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率

**連結実質赤字比率** 全会計を対象とした実質赤字額または資金の不足額の標準財政規模に対する比率

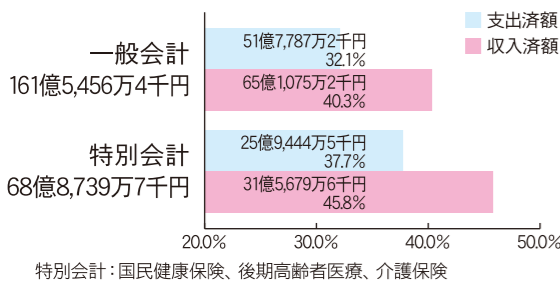
**実質公債費比率** 一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率

**将来負担比率** 地方公社や損失補償を行っている出資法人等に係るものも含め、当該地方公共団体の一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

**早期健全化基準** 上記4つの指標のうち、1つでもこの基準以上となった場合は「早期健全化団体」となり、財政健全化計画を策定し、自主的に財政の健全化に取り組むこととなります。なお、資金不足比率に対して定められている経営健全化基準は、この早期健全化基準に相当します。

**財政再生基準** 将来負担比率を除く3つの指標のうち、1つでもこの基準以上となった場合は「財政再生団体」となり、財政再生計画を策定し、国の監督の下で財政再建に取り組むこととなります。

## 令和3年度歳入歳出予算執行状況

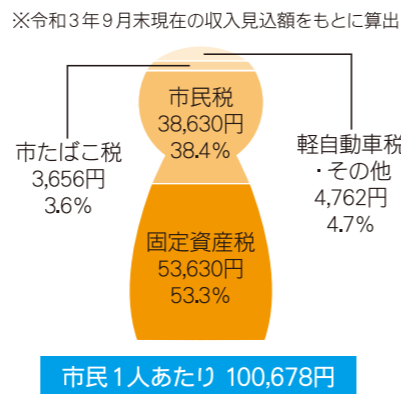


## 市有財産の現在高

※企業会計を除く

土地	1,403,526㎡
建物	100,372㎡
山林	2,294,504㎡
現金・預金	19億7,768万7千円
基金等	56億2,077万7千円

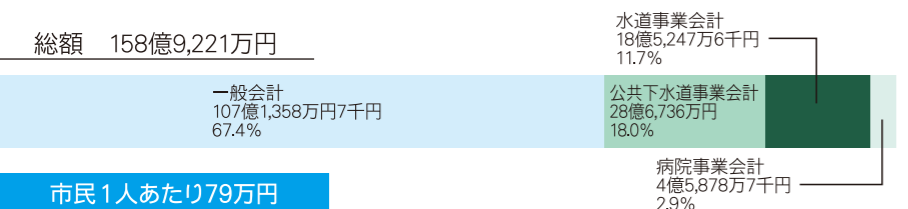
## 市税の負担状況



## 一時借入金の現在高

※企業会計を除く  
該当なし

## 市債(市の借入金)の現在高



## 公営企業の経理状況

	水道事業会計	病院事業会計	公共下水道事業会計	
資産	固定資産	33億6,624万7千円	7億5,035万4千円	63億2,023万6千円
	流動資産	7億8,158万6千円	4億1,255万5千円	2億8,484万4千円
	計	41億4,783万3千円	11億5,160万9千円	65億2,872万円
負債	固定負債	17億8,790万1千円	4億7,510万9千円	27億1,677万8千円
	流動負債	1億1,089万8千円	2,896万9千円	1億6,296万9千円
	繰延収益	1億1,919万2千円	3億1,917万8千円	31億7,573万2千円
	計	20億1,799万1千円	8億2,325万6千円	60億5,547万9千円
純資産	資本金	12億1,148万1千円	1億2,229万5千円	3,822万4千円
	剰余金	9億1,836万1千円	2億2,605万8千円	4億3,501万7千円
	計	21億2,984万2千円	3億2,835万3千円	4億7,324万1千円
上期純利益	1億1,022万3千円	370万3千円	2億6,779万2千円	

※上期純利益には、決算時に整理する減価償却費等は算入されていない

※歳入歳出予算執行状況、市税の負担状況、市債・市有財産・一時借入金の現在高、公営企業の経理状況は、令和3年9月30日現在のデータ。住民基本台帳人口 20,128人

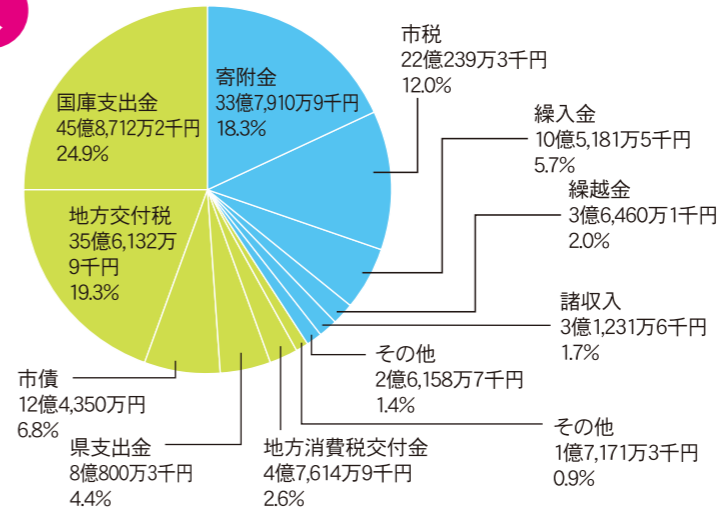
## 令和2年度 決算状況

### ■一般会計(決算統計による)

歳入184億1,963万7千円 歳出179億6,647万2千円 歳入歳出差引額4億5,316万5千円

令和2年度の決算規模は、前年度と比較すると歳入35億7,067万6千円(24.0%)、歳出34億8,211万2千円(24.0%)の増となり、新型コロナウイルス感染症対策の影響等により、歳入・歳出ともに前年度を大きく上回りました。

### 歳入



■自主財源は、市税や繰越金が減となったものの、寄附金や繰入金が大きく増となったことなどから、前年度に比べ9億5,306万円増加しました。

■依存財源は、市債が減となったものの国庫支出金が大きく増となったことなどから、前年度に比べ26億1,761万6千円増加しました。

■自主財源 75億7,182万1千円(41.1%)

市税など市が自分の手で調達できる収入

■依存財源 108億4,781万6千円(58.9%)

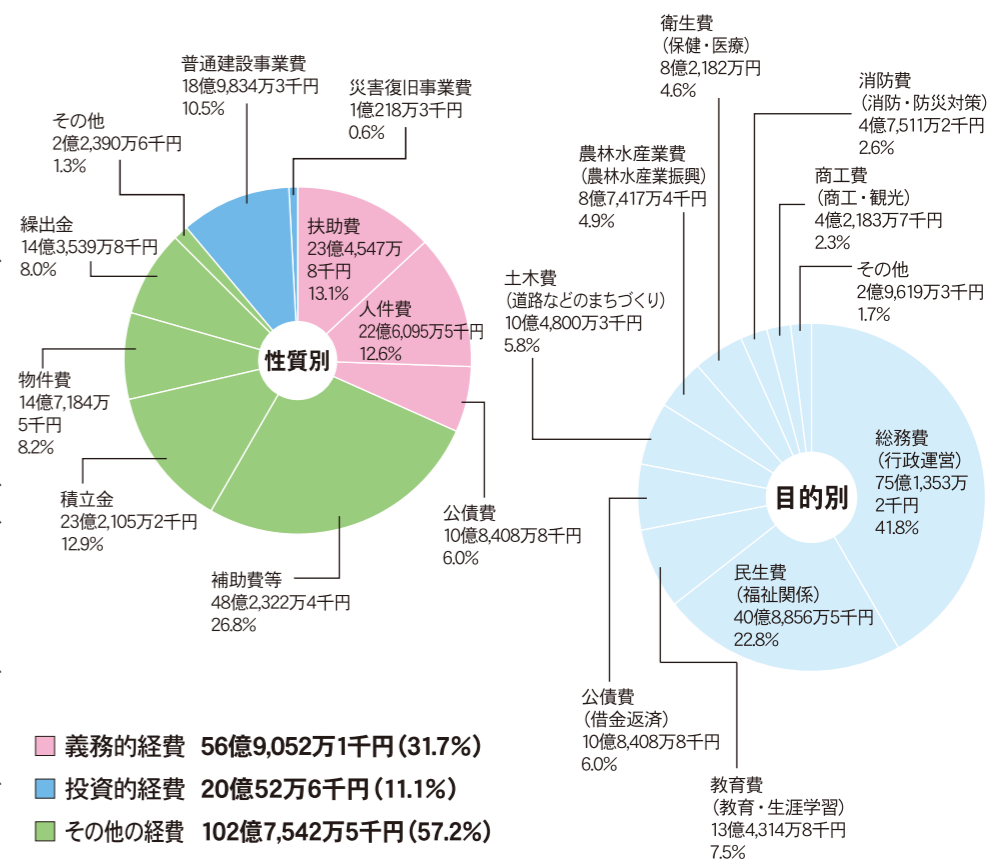
地方交付税や国・県支出金など、国や県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする収入

### 歳出

■義務的経費は、人件費が増となったものの、社会保障関係費である扶助費や借入金の返済である公債費が減となったことなどから、前年度に比べ2,574万4千円減少し、構成比は前年度より7.8ポイント低くなりました。

■投資的経費は、災害復旧事業費が増となったものの、普通建設事業費のうち補助事業費と県営事業負担金が減となったことなどから、前年度に比べ4,596万4千円減少し、構成比は前年度より3.0ポイント低くなりました。

■その他の経費は、積立金がふると応援基金積立金等の増により増、補助費等が特別定額給付金の増などで増となったことなどから、前年度に比べ35億5,382万円増加し、構成比は前年度より10.8ポイント高くなりました。



### ■特別会計

会計名	国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険
歳入総額	35億4,670万6千円	3億6,266万1千円	28億2,344万8千円
歳出総額	35億3,579万7千円	3億6,085万4千円	26億3,550万9千円
歳入歳出差引額	1,090万9千円	180万7千円	1億8,793万9千円